

「ひろしまの都市格と暮らし」-4

2013年1月26日 (土) 13:30より (会場受付: 13:00より)

場所: 広島市まちづくり市民交流プラザ 北棟 6階マルチメディアスタジオ 広島市中区袋町6番36号

ひろしま文化都市会議では、これまで3カ年に渡り「ひろしまの都市格と暮らしを考える」と題したフォーラムを開催し、江戸時代後期の広島の下町の歴史や生活文化、「学都」「軍都」と呼ばれた時代の「広島の大衆と街と暮らし」、戦後復興のまちづくりと暮らしなどについて振り返りながら、参加者の皆さんとひろしまの都市格(都市の性格や品格)とは何か?について考えてきました。

そして今年度は、その流れを受け継ぎ、全米で最も成功した都市再生プロジェクトの1つであると言われているポートランドの取組みについて学びながら、戦後100年目(2045年)の広島の都市格と暮らしを想定し、その将来像に向けた次世代の都市のつくり方について考えたいと思います。

実行委員会: ひろしま文化都市会議

第1部 講話(13:30-14:45) 質疑応答(14:45~15:15)

グリーンネイバーフッド (環境共生時代の新しい都市生活像)

「ポートランドにみる環境先進都市のつくりかたとつかいかた」

ポートランドの都市再生を成功に導いたPPP(Public Private Partnership: 官民連携)の取組みと、それをもとに進められてきたソーシャルビジネスやエリアデザインとはどのようなものであったのかについて考える。公共的センスをもつ民間アベロッパーと、私企業的決断力と政策執行能力に長けた行政機関が会って初めて実現したこの街づくりは、これからの広島の街づくりを考えるに当たってとても有意義な事例になると思われる。

●話題提供/吹田 良平 氏 (すいたりょうへい/ (株) アーキネティクス 取締役)

大学卒業後、浜野総合研究所を経て現職。新生活習慣の創造に関心テーマとし、生活起点に立った商業開発、都市開発の企画策定を中心に、関連する内容の出版物編集・制作も行う。主な著書として「グリーンネイバーフッド 米国ポートランドにみる環境先進都市のつくりかたとつかいかた」等がある。



----- コーヒーブレイク (15:15~15:30) -----

第2部 トークセッション(15:30-17:30)

「2045年を目指した広島ソーシャルビジネスとエリアデザイン」

第1部の講話をもとに、約30年後の広島の街の暮らしを想定しながら、その将来像を実現していくためのPPPの在り方や、それによって生まれるソーシャルビジネスとエリアデザインについて考える。

話題提供 パネリスト / 平尾 順平 氏 (ひろしまじん大学 学長)

／ 四居 敬三 氏 (うらぶくろ商店街振興組合 副理事長)

／ 今井 信博 氏 (現代計画研究所 代表取締役社長)

／ 国本 善平 氏 (広島市役所/おやし活性化委員会)

コーディネーター / 三島 久範 氏 (GKデザイン総研広島 都市・建築デザイン部 取締役部長)

申込み方法 及び 申込み先は裏面に記載してあります。